

きょうもあしたも、  
みんなで

ふ、ふ、ふ  
fu

ふ、ふ、ふ  
fu

ふ、ふ、ふ  
fu

まちと  
くらしと  
からだ  
ひとと

川崎病院 広報誌

vol.83

2026.1月号



HP



バックナンバー

ふ、ふ、ふな便利

かわさきさんからの  
お便りが届きました

### 山を愛する人の登山前日

趣味で登山をしています。夏山シーズンの6月初旬から10月中旬にかけて、日本百名山に名を連ねる北アルプスの槍・穂高連峰や立山連峰にある剱岳などをメインに「岩と雪の殿堂」と呼ばれる山々を何度となく登っています。

登山の行動にはたくさんの必需品があります。雨天時に身を守るレインウェアや防寒着、落石から頭を守るためのヘルメット。さらには、エネルギー補給のための行動食や水など。それらをザックに詰めると、滅茶苦茶重たくなります。前日に準備していると、「こんな重たいザックを担ぐのは嫌だな」とつい口にしてしまいます。

そして、登山用品の準備と同じくらい重要なのは、身体の準備です。登頂から下山までの長い工程を歩ききる体力がないと登山はできません。近年、登山客の事故が急増しています。特に最近の猛暑は経験者でも脱水症状から高山病になり体が思うように動かなくなることがあります。これからも頂上からの素晴らしい絶景を見るために、十分な体力と準備をして安全な登山を楽しみたいと思います。

渉外課  
岩屋 裕之さん



## しごできさんのヒミツ



仕事に家事に、  
ときに育児に介護。  
みーんな、いそがしい！

今回は救急の現場で  
いつも忙しい「しご(とが)でき(る)」さんに  
段取りや準備について聞きました。

いそがしくたって、  
ふ、ふ、ふな毎日を！



備えておく  
って大切



**吉元** 消防署に勤めていた頃、中学生の心肺停止の現場に行ったことがありました。その子の命は助かりましたが、AEDが使われていませんでした。これを重く受け止めた学校から、AED講習を依頼されました。何か起こる前から対策をしてほしいなと思います。何においても言えますが、やはり事前の備えは大切です。

**成枝** 備えは大切ですね。私は災害支援ナースもしていますが、災害においても、事前の対策が大切です。例えば、不調を感じながらも放置していて、健康診断で重大な病気が見つかることもあります。何もなければそれでよし。対策をしておくに越したことはありません。

たくさんの  
想定を  
しておこう



**吉元** 救急車は「家族の様子がなんだかおかしい」といったような、内容がはっきりとしない通報に対して、出動することがあります。救急車に積める資器材は限られているため、汎用性の高いものを選び、最小限で最大限の対応ができるよう心がけています。念のためを意識して、想定幅をかなり広げておくんです。病院の側ではどうですか？

**成枝** 救急外来では、患者さんの情報が事前に入ってきます。病院に到着されるまでに、私たちは最悪の事態を想定して物品の準備をしています。

学  
実践  
を  
と  
返す  
繰  
繰



**成枝** 今日の常識は明日の非常識とよく言いますが、経験に頼るだけでなく、知識を更新していくことが大切だと思っています。今は役職についていますが、現場の状況を知るために、現場には出続けています。

**吉元** 知識は抽斗（ひきだし）で、経験はそれを引き出す力だと思っています。緊張や焦りがあると、いつもできることができないこともあると思います。知識と経験、どちらも深めていけるとよいですね。

病院救急車って？

一般的になじみのある救急車は、119番通報を受け、消防署から出動しています。一方、病院救急車は、病院が所有し、病院から出動します。自宅や施設、クリニックから病院までの搬送や病院間の転院搬送などに使用されます。設備や資器材、同乗するスタッフは病院ごとに異なっていて、地域のニーズや病院の特徴に合わせて活用されます。老々介護やひとり暮らしの高齢者が増えたことにより、軽症や施設間移動のための搬送が増えて救急車の出動台数がひっ迫するなか、病院救急車の活躍が求められています。

川崎病院のふふふな人



成枝 由季子 なりえだ ゆきこ

看護部 看護師

救急室ってなにをするの？

救急室は、軽症から重症までさまざまな症状の患者さんを、ICUでは特に命の危機にある患者さんを受け入れ、24時間体制で検査・処置・治療を迅速に行う医療の最前線です。治療・処置を優先せざるをえないこともあります。患者さんの思いを大切に関わっています。

＼Q1／  
仕事でやりがいを感じるときは？

A. 患者さんが「元気になった」「楽になった」姿をみること

＼Q2／  
気分転換したいときには、何をしますか？

A. ドライブ  
日帰りで道の駅探索

＼Q3／  
看護師として自分の生活で気をつけていることは？

A. 健康管理 風邪をひかない

＼Q4／  
仕事以外で取り組んでいるなにかはありますか？

A. 趣味にしたいパラコードでのストラップ作り

＼Q5／  
最近、笑ったことは？

A. 忘年会で余興をしたとき

川崎病院看護部 看護師  
成枝 由季子さん

救急現場  
から学ぶ

# 段取り上手のお仕事術

患者さんを救急車で運びながら応急処置をする救命救急士。そのバトンを受け取り、病院で救急外来で対応をする看護師。いのちと向き合う仕事において、大切にしていることは、私たちの仕事や暮らしにも活きる知恵がたくさん。救急車の運行・管理を行なう民間企業の救急救命士の吉元さん。そして、救急外来とICUで働く看護師の成枝さんに、仕事の段取りや準備について話を伺いました。

優先順位を  
決める！



**成枝** たくさんのタスクがあるときは、まず優先順位を決めることがとても重要ですね。

**吉元** そうですね。全く同意見です。

**成枝** もちろん非常に難しい状況で困ったり、迷ったりすることもあります。そういうときは、頼れる人に相談します。そして、その日が終わったら、どうすべきだったかを振り返るようにしていますね。

**吉元** 似ていますね。私も多忙になりすぎているときは、同僚と雑談するようにしています。人に話すと、自分の中で整理されることがあるんです。



「みんなの救急車」プロジェクト

救急搬送のひっ迫を解決するため、川崎病院で救急車を購入しました。その名も「みんなの救急車」です。クラウドファンディングを実施し、皆さまのご支援により、目標金額を達成することができました。2025年9月に納車され、運行をはじめます。神戸市の救急隊の負担を軽減し、地域の皆さんが安心して医療を受けられる地域になることを目指しています。



「みんなの救急車」プロジェクト  
詳細はこちら

株式会社 Captain Ambulance  
救急救命士 吉元 弘さん



## イベント紹介

1月10日(土)11:00~17:00

まちのZINEフェス&  
インディマーケット in神戸ふたば  
広報誌展示・配布、アヒルすくい、文具交換会  
場所：ふたば学舎

1月23日(金)14:30~15:30

無料

かわさき健康講座

要予約

血糖高め対策!  
おもしろくてためになる  
食事のはなし

講師：管理栄養士 山本利恵  
場所：神戸市立婦人会館 4F「つばき」

2月20日(金)14:00~15:00

無料

かわさき健康講座

大切な時間とお金を  
無駄遣いしない!  
医療・介護の制度を利用した  
賢い備え方

講師：医事課 事務 天野尚美  
ソニー生命保険株式会社  
医療ソーシャルワーカー 戸嶋 諒  
場所：ひよどり地域福祉センター

3月13日(金)13:30~14:30

無料

かわさき健康講座

予約優先

病気で揺れるこころの守り方  
～はじめての診断から入院、  
自宅での生活まで～

講師：精神科認定看護師 屋敷久恵  
場所：川崎病院 西館5F会議室

## NEWS

川崎病院は1月6日で  
開設90周年を迎えました

地域情報コーナー

ふふふなまちかど  
を総合受付前に設置しました

みんなの救急車プロジェクト  
「川崎救急」は総出動件数200件を達成!  
(発行時点)

## かわさきさんの ふ、ふ、ふな日常

川崎病院の職員がリレー形式で  
お送りする、1コマの日常。



パン作りにハマってます♪

## このマチこのヒト

救急と地域の未来を守る

株式会社  
Captain Ambulance



左から 吉元さん 文屋さん 川面さん



株式会社  
Captain Ambulance  
ホームページ

キャプテンアンビュランスは、救急や地域のよりよい未来を実現することを目指す企業。神戸市消防局で勤務していた消防士が、現場で感じた課題を解決するために立ち上げました。

「CAPTAIN FLOW」事業では、医師・看護師・救急救命士からなるチームを出動させ、患者さんの搬送を行なっています。「ためらわずに呼べる救急導線」をつくるため、通常の救急搬送だけではなく、長距離搬送や帰宅搬送、多言語対応など、多様なニーズに対応したサービスを提供しています。そして、救護支援や大学での授業、地域のプランディングなど、さまざまな活動・事業も。

川崎病院と連携しており、「みんなの救急車」の運行・管理を行なっています。これからも地域の課題に共に取り組んでいきます。



現在、「みんなの救急車」は、医療・介護従事者からの要請で出動しています

## 編集後記

2026年1月6日、川崎病院は開設90周年という大きな節目を迎えました。時代が移ろいゆくなかでも、私たちはひとつの言葉を大切に守り続けてきました。それは「協同互助」という言葉です。川崎病院の創立者である平生飢三郎氏(後の川崎重工業株式会社である株式会社川崎造船所社長)によるこの言葉は、川崎病院の精神を築きました。「地域の人みんなで力を合わせ、心を寄せて、互いに助け合っていく」。このシンプルで力強い

想いは、今も私たちの活動の根幹をなしています。私たちが病気の治療をするだけでなく、地域の皆さんの健康のために予防医療を提供し、地域活動に熱心に取り組んでいる理由はこの言葉に詰まっています。すべては、この引き継がれてきた「協同互助」の精神が息づいているからなのです。これからも皆さんと互いに助け合える地域づくりに貢献していきます。

医療法人 川崎病院  
KAWASAKI HOSPITAL

〒652-0042  
神戸市兵庫区東山町3-3-1  
078-511-3131  
www.kawasaki-hospital-kobe.or.jp

発行責任者：病院長 西村元延  
編集責任者：広報室 黒石枝里奈

